

寺報 善 巧

発行
〒938-0862 富山県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール zengyou@p2342.nsk.ne.jp

賀 正



寺
ごよみ

一 月

一日 修正会
三日 日校かるた会
五日 栗虫報恩講
七日 日校成人式
八日 雪ん子劇団初練習
花の会新年会

ご 正 忌

一日 米とぎ
一二日 お華束準備
一三日 一時 速夜
一四日 一時 速夜
一五日 十一時 下村お講
一時 速夜
七時 初夜
一六日 十一時 浦山・板屋・
熊野・大橋お講
一時 満座

二三日 組仏婦連盟打合せ



梯實圓和上を囲んで

ロケットにつけて地球をながめた宇宙飛行士が、ニューヨークとオーストラリアが同時にみえたといっています。それは地球上に住む私たちには到底みられる光景ではありません。常識をこえた次元というべきでありましょう。

私たちは丸い地球に住みながら、丸い地球を絶対みることができません。しかし、ロケットにつけて地球の外へでて、無限の宇宙の世界からみると丸い地球をみることができ、地球の裏表がみられるのです。それは地球上の視点による次元とは異なる宇宙からの視点による常識をこえた次元であるといわねばなりません。

仏陀のみ教えは、このような宇宙的な次元から人生をとらえ、私たちのいのちをみつめているというべきでしょう。

非常の言は、常人の耳に入らず（論註）

ということがあります。が、仏法は常識の次元、す

非 常 の 言

なわち政治、経済、科学技術等の文明をこえた出世間の世界をみているのです。したがって、常識の世界だけに浸っている者には、非常のことば（仏陀の教言）は耳に入りにくいのです。

私たちは、生死といえ、此の世に生まれて五十年、百年の生涯をおくって死んでいく存在だけをみていますが、それは地球上だけの視点と同じようです。しかし、もっと広い視野、宇宙的視点からみれば、生まれるまでに無限の過去からの生と死をくりかえしてきたのです。そして人間の生涯を終えてもまた無限の未来に生死をくりかえしていくのちなのです。つまり、過去、現在、未来の三世の生死の流転のなかに存在する今のいのちなのです。救いとはこの生死流転が破られ、浄土への道を今あたえられる身になったことです。

行信教教授

高田慈昭先生

空華



空華忌講話

(平成十一年十一月)

山本攝叡先生

行信教校教授 定専坊住職



今私たちがいます行信教校におられた遠藤秀善という先生がおっしゃった言葉ですが、「私が本当に信仰を得るといことは、ちょうどいいうことを聞かない荒馬のような私の心が、その手綱をとる御者によって御せられていく世界を知るといことなんだ。だからそ

の荒馬の性質は今のうちには変わることはないけれど、このご安心ご信心というたしかな御者に御せられた上は、もうそれほど大きな誤ったこともしないであろう。ほんとうにご信心を得る御安心を得るといことはこの荒馬のような私の心が本当のご信心によって調教せられて、いつもあつち向いたりこつち向いたりどこへ向いていくかもしれないような自分のこの心根であるけれども、それが正しい御者によって調教されて、歩む道を教えられていくような

世界だったんです。」

ですからこの妙好人といわれた方のお姿を見ていると、それは必ず共通して、信仰というものによって自分の日々の生活を見事に完成していかれた方の姿だったと思うんです。

源左さんという方は、ちよつと想像できないくらい勤勉な方だったみたいですね。朝の早起きも朝起きと言えないような、夜中過ぎに起きていらつしゃって生活なさったらしいですよ。

雑談になりますけどね、私は教員をしておったんです。最初に勤めた学校に、誰よりも早く学校に来られる先生がおられたんです。いつも職員室ですつと腕組みして授業するところの教科書を眺めて勉強されているんです。私らまだ二十代の半ばですわ。やんちゃ盛りで、同僚の友達とちよつと寄り道しようかといつて、あちらこちら出かけてフラ

フラ遊び歩いておったんです。勤めておった学校が遠いもんで一時間半程かかるんです。つい夜中遅くまで遊んでいるもんですから、今日は学校へ引き返して保健室で寝ようかってね。今の学校は時間が来たら管理会社で鍵を閉めてしまいま

してね、間違つて開けたらすぐにガードマンが飛んでくるような体制ができてますけど、昔はもうちよつと穏やかだったんですね。それで、今日は学校で泊まるんやから明日だけはあの先生より早く学校へ来れるな、と友達と話しながら寝たんです。ところが一杯入ってるもんだからいったん寝てしまつたら目が覚めない

たら、もう先生ちゃんと座つて黙々と勉強されているんです。学校に泊まつてもあの先生より早く来られん、もうこら負けたと友達とやんちゃしながら笑い話しておつたもんです。

こういう勤勉さというのはね、理屈を超えて周りに影響を与えますよね。ああせえこうせえと言われてもなかなか反発して聞かないもんですけど、その人が毎日実行されておつたら、周りにいるもんは文句言えないですよ。頭を下げずにおれないですよ。

だから、この足利源左さんという方もそういう意味では、勤勉さを絵に描いたような人だったみたいですね。その源左さんがこ

ういうことをおっしゃつて

なんです。ふつと目が覚めたらもうあたりが明るい。どうしよう、あの先生もう来られてるかなとそうつと保健室を出て職員室へ行つ

「浄土真宗の信者は、念仏者というのはいちちこちのお寺によく参らせてもら

るんですよ、みなさんはどう思われますか。

うもんだから『あいつは一人前の仕事をしない』『法座に参るから世間の仕事蔑ろにする』などと言われたら、これは私が非難されるのではなくて御法義の顔に傷をつけることになるんだよ。だからもし、浄土真宗の信者がご法座に参るのなら、そのご法座に参ってとられる時間の分は、朝早く夜遅くに働いて、人一倍の

ご法義に、お念仏の教えに傷をつけないように

たら人よりも早く起きて畑へ出かけてそれをせよ、それでも足らなかつたら帰ってからまたその畑仕事をせよ、そして人に負けんだけの仕事を充分にこなした上でお寺参りをしなければいけないんだ。そうしなかつたら御法義にお念仏の教えに傷がつくんだよ。といってそれを実践されたというんですよ。

事をしなかったならば申し訳がたたんよ。」こうおっしゃるんです。厳しい言葉ですね。言うのはかんたんですけどね。源左さんの家は紙漉とかいろんな事をやっていらしたんですけどやっぱり農業が中心でした。ですから畑仕事をする。昔ですから自分の体で全部刈り入れからしなければならいんですからね、その畑仕事を昼の法座に参らせてもらう分だけできないんであつ

柳宗悦という源左さんのことを書かれた有名な学者さんは「妙好人というの決して一人だけの宗教的天才じゃないんです。それを生み出す土壌があるんです。」とおっしゃってます。おそらくこの富山あたりはそういう土壌を持った世界だったと思うんです。だから、妙好人というのは決して急に一人だけ宗教的な天才が現れて宗教的な活動をしたということはい

り得ない、むしろそういうような無名のお念仏者たちが数多くいらつしやうてね、そんな中ではじめて一人の妙好人と呼ばれるような方が生み出されるのであつて、地盤も土壌もないところから有名な妙好人がぼーんと出ることはまずないんだ。つまり浄土真宗の念仏の味わいというのはその地域、家庭、人々の心の中に充分にいきわたつておつた。我々には名前も何も残されていないけれどもそういう無名の妙好人と呼ぶにふさわしい方がたくさん過去にいらつしやうただろうと私は思うんですよ。



ご本尊は本山からお迎えしましょう

蓮如上人五百回遠忌の際に、御門主様がご消息で述べられた、「故郷を遠く離れ、一人住まいをしている学生さんや、單身赴任の方も、御本尊を御安置して頂きたい。」のお言葉を受けて、この度新しいサイズの御本尊が、「いちよう」「きく」と名づけられ制定されました。

1 授与開始

平成12年8月1日より

2 冥加金

「いちよう」

(絵像・名号 共)

一幅 三〇、〇〇〇円

「きく」

(絵像・名号 共)

一幅 二〇、〇〇〇円



きく(絵像)

3 送料

「いちよう」

「きく」

共に、一、五〇〇円

4 申し込み方法

申込書に必要事項を明記の上、冥加金・送料を添えて、現金書留にてご送付下さい。

5 申し込み先

〒六〇〇一八三五八

京都市下京区

堀川通花屋町下ル

浄土真宗本願寺派

本願寺 参拝部法務係

TEL 〇七五―三七一

―五八一(代)



いちよう(六字)

(富山本願寺教報 309号から)

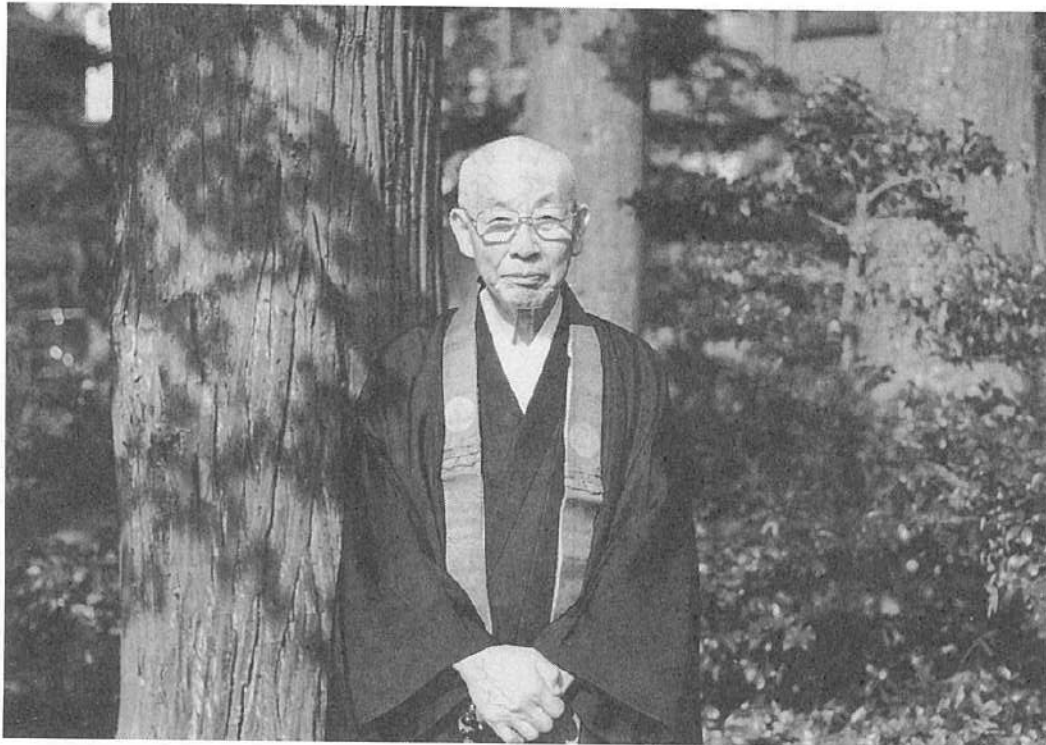
空華忌 梯和上をお迎えして

待ちに待った梯和上をお
迎えしての空華忌。夜、午
前、午後の三座ともたくさ

んの参詣者がありました。
今年には行信教校からの聖跡
参拝の年でもあって、夜は

学生さんと総代さんが賑や
かに話し合う光景が見られ
ました。今後も今年のように

に賑わうご法座になればと
望まれます。



寺
ごよみ

二月

一日 浦山お講

二日 三市市報恩講

六日 生地・荻生報恩講

八日 舟見報恩講

九日 下立お講

一四日 音沢ご助成会

一六日 十七夜お経会

二一日 下立報恩講

二二日 第四回カラオケ

二六日 栃屋・熊野報恩講

二七日 入善・泊報恩講

寺
ごよみ

三月

一日 浦山お講

二日 浦山報恩講

一三日 (四、八、一一日休み)

九日 組仏婦十周年準備

一〇日 黒西組仏婦連盟十

周年記念大会

一六日 栃沢お講

一七日 十七夜お経会

一八日 教化推進協議会

二四日 雪ん子定期公演

二六日 連研 於發願寺

三一日 雪ん子鳥取公演



原爆ドーム前で



新ご住職と

平成七年の祠堂会にご出向頂いた清胤弘英先生の住職継職奉告法要にかけつけました。

花の会 広島正覚寺様へ

10/15



新世紀
いま明けそめて 春あかり
喜子



空華忌にごえんをいただいて新旧役員が献灯献花をしました。

空華忌仏婦の日

11/5

『ほんゝねま』

親鸞聖人のおとりこし報恩講。赤いおろうそくがかなり定着してきました。お寺の報恩講の記念品『必携』と寺報の影響でしょうか。気になるのは、打敷の敷き方と、打敷の上のお道具の並べ方です。おフダなどは少なくはなってきました。お昼を出してくださった方、ありがとうございます。手作りのみそ汁、漬け物、暖かい味でした。ごちそうさまでした。

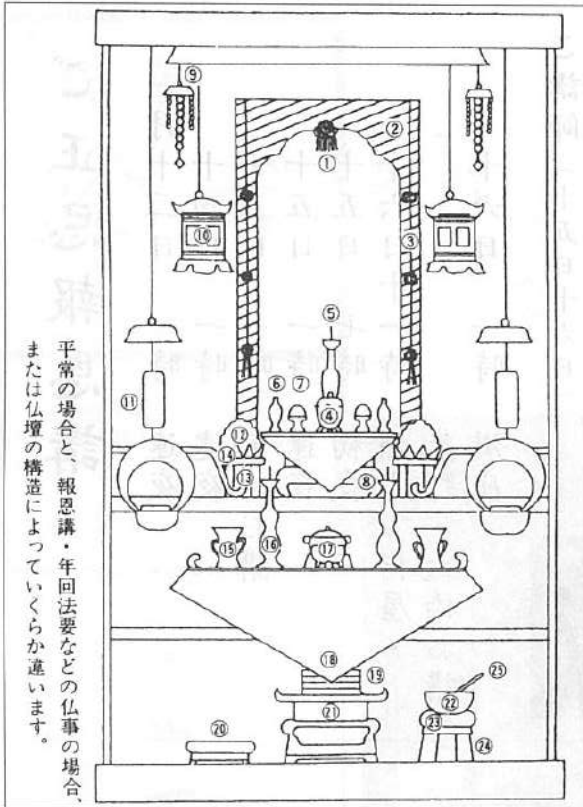
Q&A

Q&A

Q お仏壇にはさざんかの花は入れたらいかがなげ？

A 『必携』の二三八ページにはね、

「花は四季それぞれに適當なものを供えますが、毒花やとげのあるもの、悪臭のあるものはひかえます。造花は使いません。」
つて書いてあるよ さざんかはだめつて書いてないね。わからんことあつたらお寺に聞いてね。



平常の場合と、報恩講・年回法要などの仏事の場合、または仏壇の構造によっていくらか違います。

お寺からさしあげたものがお仏壇に置かれたままになつてゐることが多いようですが、どうか活用してください。お仏壇のお莊嚴は住職継職奉告法要の記念品『必携』の二二八頁「仏壇」二二三頁「莊嚴」をござん下さい。

四具足

- ④火舎
- ⑤ろうそく立
- ⑥華瓶一対
- ⑦仏飯器
- ⑧輪灯
- ⑨供物
- ⑩供筒
- ⑪花瓶一対
- ⑫ろうそく立一対
- ⑬香炉
- ⑭打敷
- ⑮正信偈、和讃、浄土真宗聖典など
- ⑯御文章箱（御文章・拝読用言語集など）
- ⑰和讃卓（お経の本をのせる卓）
- ⑱りん
- ⑲りんぶとん
- ⑳りん台
- ㉑撥（うちぼう）

五具足

- ①川瀬義友（10・27）佐々木次盛（11・1）中林与市（母11・19）野村伊太郎（11・30）大浦猪次郎（12・18）丸田清作（母12・24）
- 三十三回忌（昭和四十四年往生）
- 西中森一（母1・12）中村長作（3・9）開澤義正（4・11）清水久作（嫁4・17）福澤茂（母4・21）中坂与次郎（6・5）佐々木三作（妻7・4）橋場直一（7・31）橋爪栄作（妻8・14）川瀬与助（妻8・25）福澤弘（父9・8）川内栄作（妻9・14）板川啓作（9・15）大浦和左工門（母9・20）佐々木三作（10・3）森岡春信（祖母10・4）川内義夫（母10・10）板澤才吉（二男11・15）佐々木みよ（11・30）佐々木栄吉（母12・1）寺崎由次郎（12・2）野島已之助（12・11）上坂好次（母12・24）
- 五十回忌（昭和二十七年往生）
- 板澤半吉（1・4）板澤栄次郎（2・16）佐々木八十八（孫2・19）川内仙松（長男3・7）中村吉左工門（3・19）川口清太郎（3・27）橋爪竹次郎（4・1）板川栄作（4・12）橋



●ご法事の予定は早めにお寺へ
●年中行事の日はおうけで
きません

本彦三郎（妻4・12）東狐仁六（母4・25）佐々木孝次郎（長男5・12）島田博嗣（祖母5・14）澤田五十郎（祖母5・22）板川良次郎（5・29）澤田孝平（母6・7）川内才吉（7・1）川内栄作（妻7・23）川口藤次（8・11）有馬助次郎（三女8・21）佐々木清九郎（母9・6）島田久作（9・8）橋米次郎（9・9）久田久次郎（妻9・11）佐々木竹次郎（二女9・16）船屋幸助（妻9・27）田中長造（10・4）山根仁三郎（10・7）浦澤清次郎（11・22）板川長次郎（妻11・22）佐々木竹松（11・29）鬼原秋義（妻12・2）板川仙松（12・6）橋場孝吉（12・9）澤田津平（12・13）浦山吉次郎（12・20）佐々木次郎兵五（12・20）

ご正忌報恩講

一月十三日 一時 速夜
 十四日 一時 速夜
 十五日十一時 下村お講
 十五日 一時 速夜
 十六日 七時 初夜
 十六日十一時 浦山・栃屋・
 熊野・大橋お講
 十六日 一時 満座

ご講師 (十五日十六日)

大阪 光照寺住職

若林 真人先生



若林先生は平成五年八月下三日講ご助成会
 平成八年九月釈隆弘七回忌にお越し頂いて
 います。行信教校のご出身で、この度本願
 寺派輔教になりました。
 十五日十六日はお講のお斎があります。

雪ん子劇団

春の公演

三月二十四日

『お寺座Ⅰ』

午後五時
 入場無料



第四回カラオケ

二月二十五日 正午



場所 善巧寺門徒会館ホール

会費 (飲み物・おつまみ代)

男性千円 女性五百円

お申し込みは地区総代さんへ

二月二十二日まで

善巧寺仏教婦人会

第一期役員は二年目に入
 ります。次の役員 (二月お
 講下立、浦山) の方々は、
 今年は見習いの年になりま

すのでよろしくお願いいた
 します。

旧・現・次期役員が力を
 合わせて、おみのりの友の
 輪を広めましょう。

黒西組仏教 婦人会連盟 10周年記念大会

平成十三年三月十日(土) 十時～十五時

所 称名寺 (黒部市荻生)

午前 開会式

法話 圓山陽子先生

午後 総会

アトラクション「宝樹会コーラス」魚津市照願寺

「雪ん子劇団」宇奈月町善巧寺

会費 千円 (弁当・記念品代)

*各地区よりご参加お願いいたします。

合 掌

新年おめでとつございます。

一月 鬼原責任役員引退

仏婦新体制に

三月 住職充電の為京都へ

八月 花の会二十周年

九月 照行寺若院結婚

十月 講師世話方・田中ま

つゑ子さん逝去

十一月 空華忌に梯和上

昨年悲喜こもごもの一

年でしたが、今年はどうな

年に?

ご無沙汰しております。

昨年より甚だ勝手ながら
 充電期間を頂き、京都に在
 住しております。

今年度から浄土真宗本願

寺派「勤式指導所」で声明
 を習うこととなります。こ

の間、副住職の弟と坊守の
 母に住職代務を頼んであり

ます。皆様には誠に頭の上
 がらない思いであり、今回

のわがままに付きましては
 一生涯背負っていく覚悟の

上、来年は富山の地に帰る
 予定ですので、何とぞご了

解お願い致します。
 雪山俊隆